

高大事例報告会

「教育心理学I」の取組み

2017.9.30

於： 関西大学梅田キャンパス

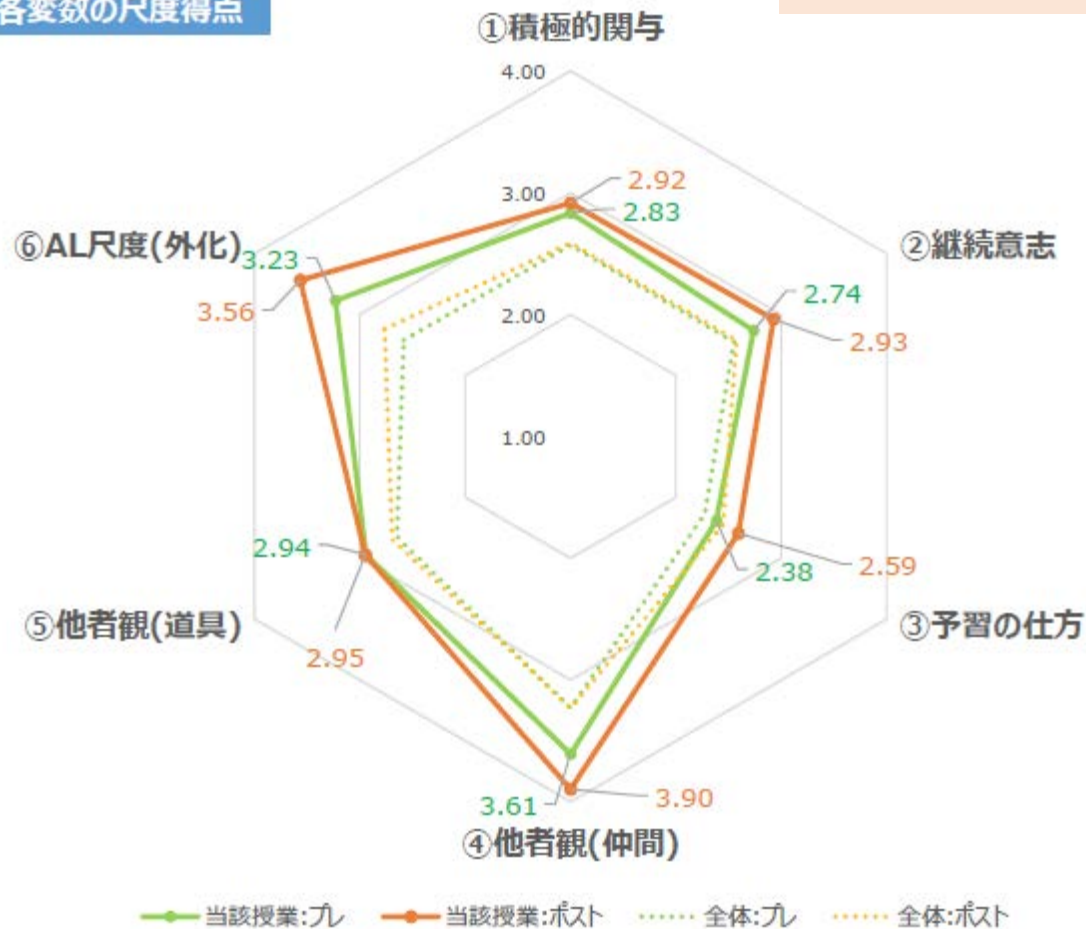
創価大学 関田一彦

統合結果

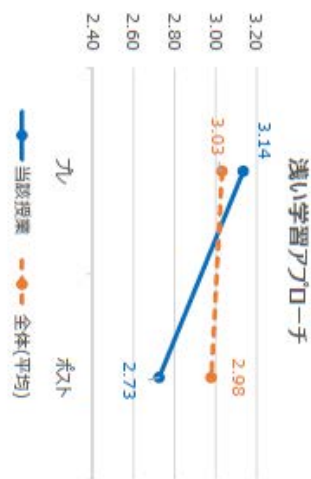
統合結果を以下に示す。

2015年教育心理学I
プレ・ポスト60

各変数の尺度得点



学習アプローチの推移

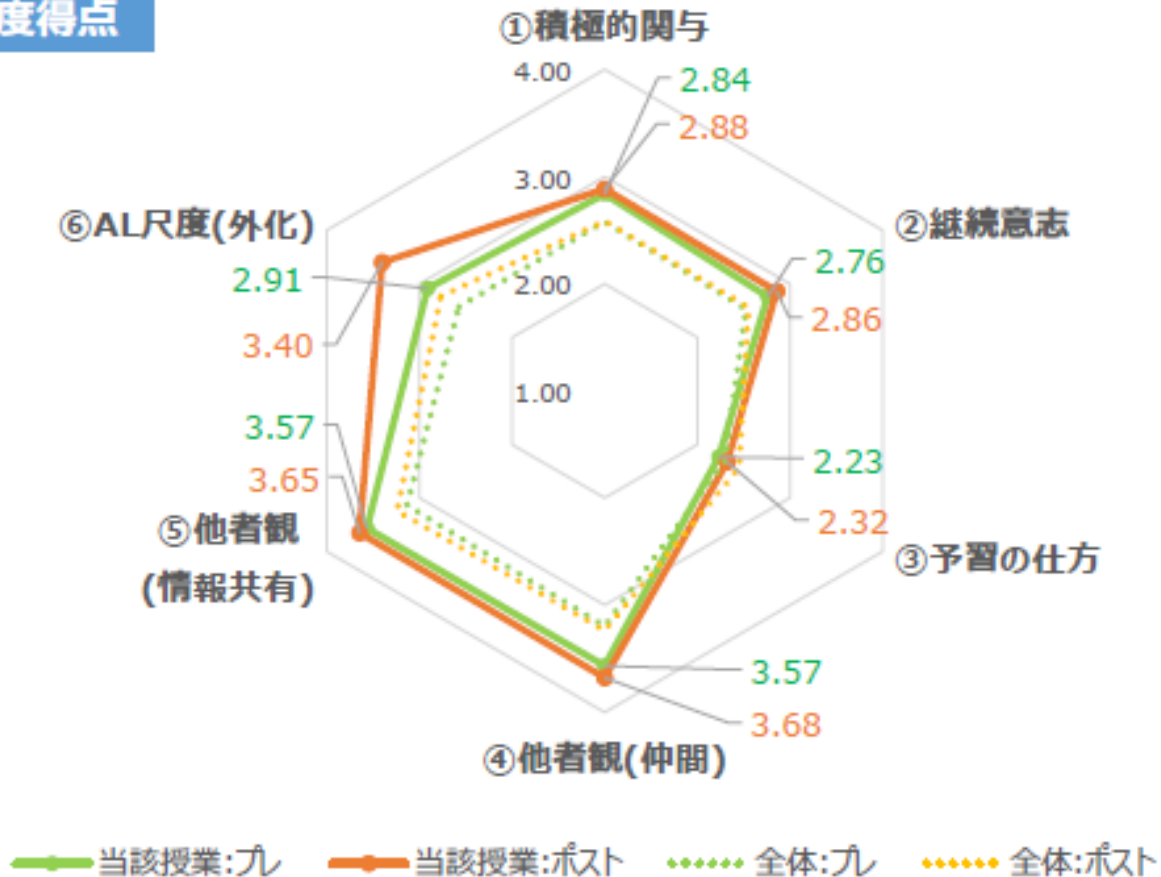


統合結果

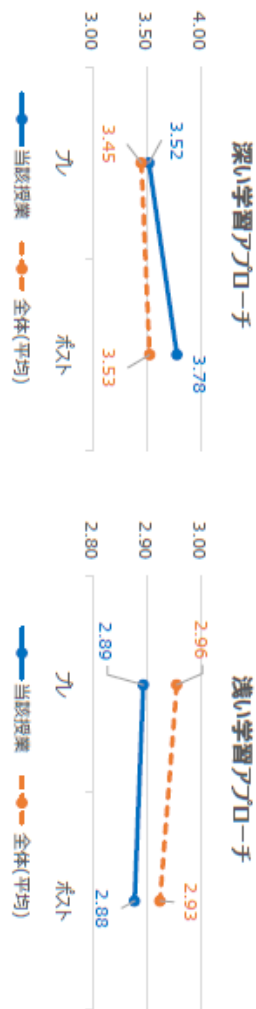
統合結果を以下に示す。

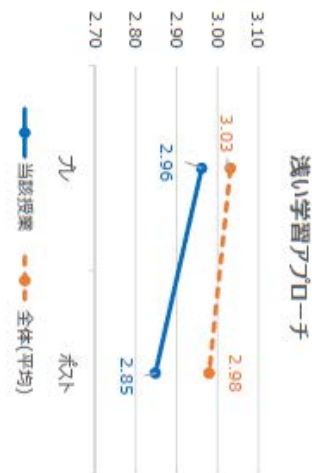
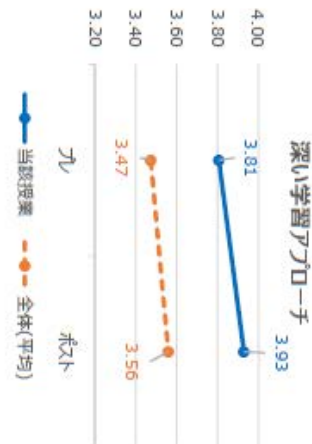
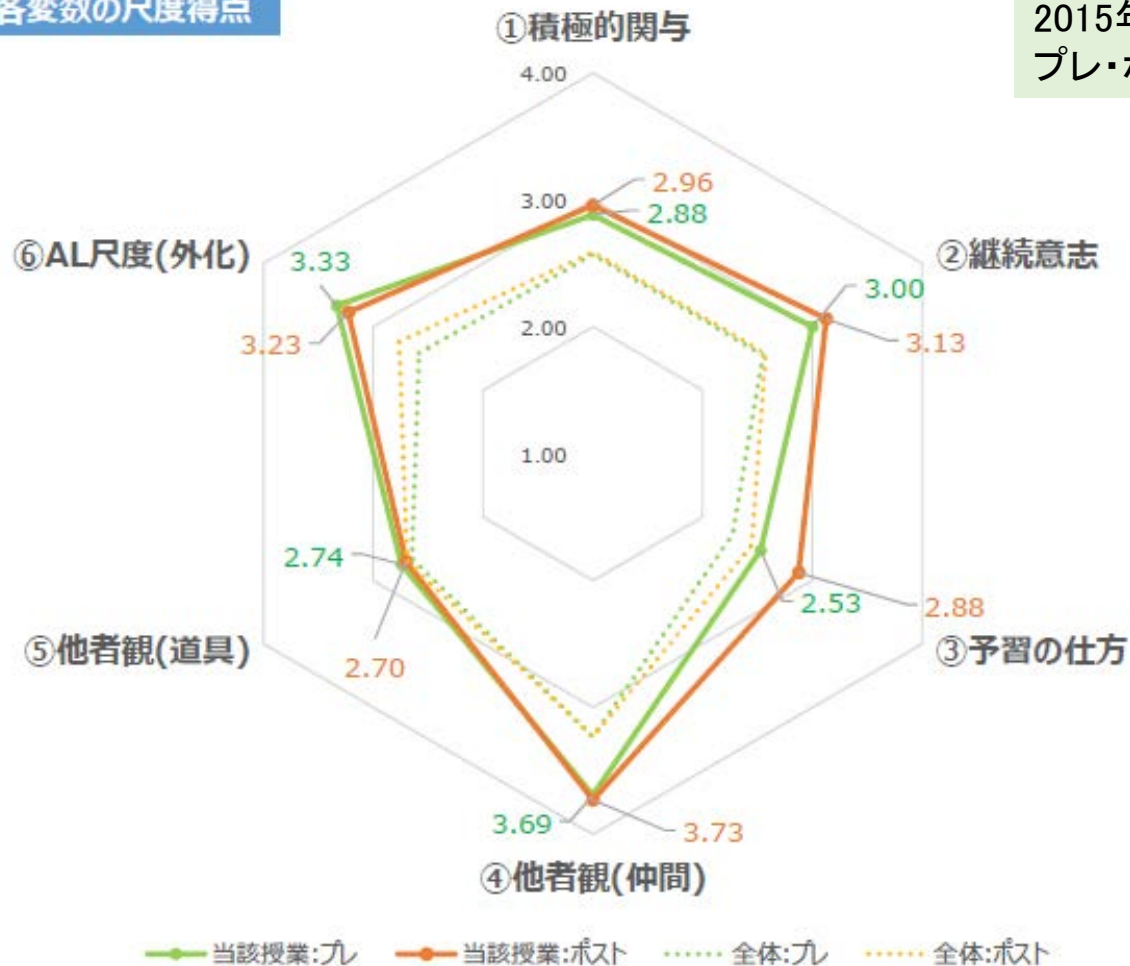
2016年教育心理学I
プレ93 ポスト75

各変数の尺度得点



学習アプローチの推移





■授業概要

学校という組織において、教員という専門家集団によって営まれる、学習指導と生徒指導に集約される「教育」という活動を、心理学的な視点から考えてみたい。

教職課程の科目でもあり、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む)に関する理解を深めることも、この授業のポイントである。

この授業は、各自の予習を前提としたディスカッション中心のスタイルをとる。ディスカッションを通じ、相互に学習経験や既習知識の活用・関連付けを促す。そのため、授業中はペア・グループ活動を多用する。

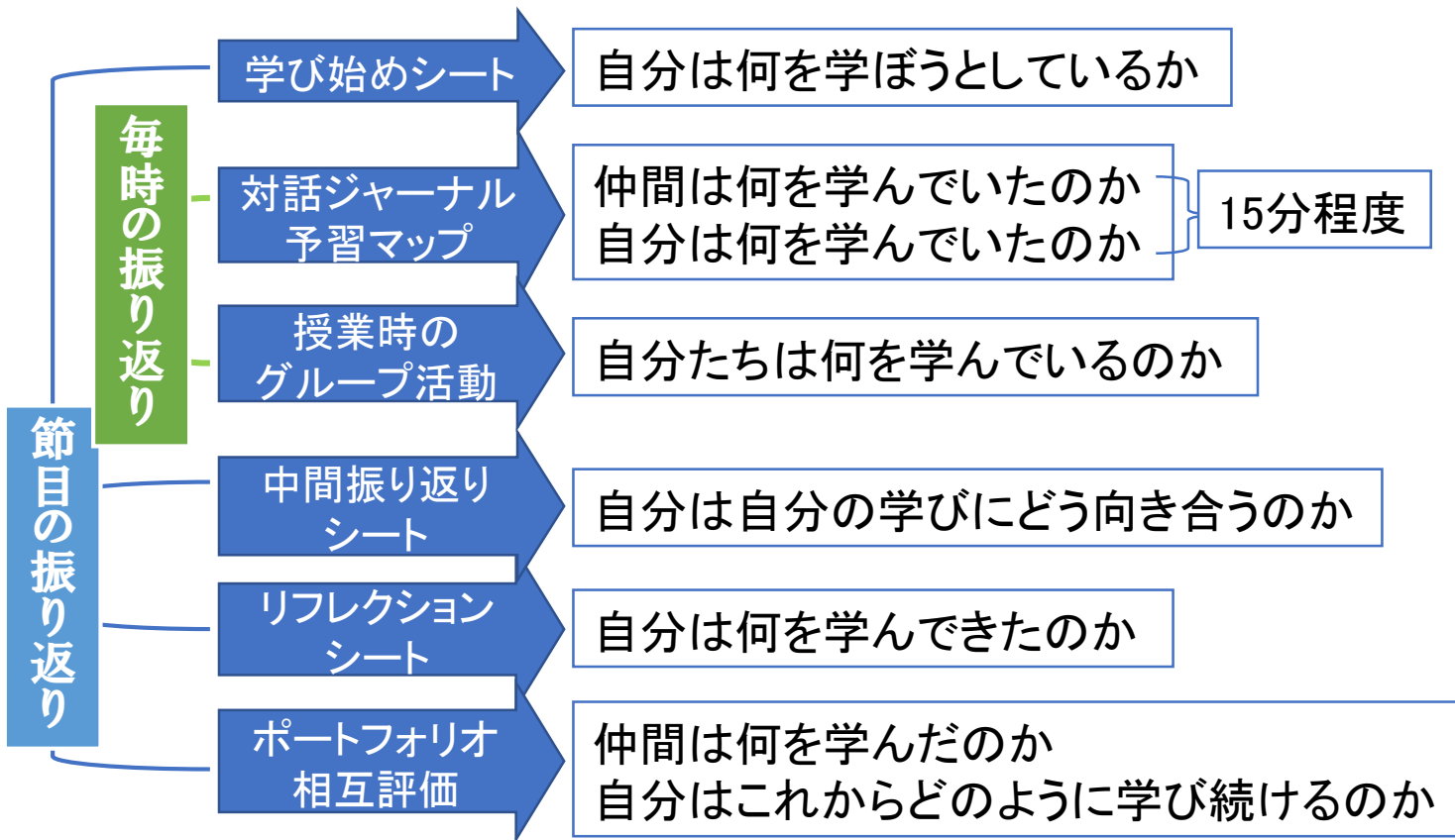
■到達目標

- ①幼児、児童及び生徒の心身の発達に関する基礎知識をもつ。
 - ②幼児、児童及び生徒の学習の過程に関する基礎知識をもつ。
 - ③教育現場の諸課題に対する教育心理学的な考察ができる。
 - ④自らの理解を他者と共有し、よりよい課題解決や状況理解に至ることができる。
- 上記①～③が十分にできればB以上、そして④ができればA以上が期待できる。

■履修上のアドバイス

教育学科の心理コースの方は必ず履修し、単位が取れるように頑張ってください。上級科目履修の前提になります。※毎週の授業に必要な学習時間(小テスト、レポート、課題など):1時間 30分

振り返りを重視した課題設定



協同教育の考え方を活かそうとした授業

- ・互いの学びを気遣う
- ・相手の貢献に感謝する
- ・一緒により良いものを目指す

協力して各々の善さを伸ばし、
有能になろうとする学習者を
励まし誘う働きかけ

- ・グループ単位の活動(4人一組の固定型)→グループ名のついた封筒
- ・個人学習(思考)→グループ学習
- ・失敗の許容「ウソでも答えよ」
- ・自己決定の尊重「どこまでやるか、自分で決めよう」
- ・課題の意義づけ
- ・期待値の明示(ループリックの活用)
- ・相互評価(アセスメント)の奨励(見守り)「発表者の成長・改善のために」
「次の発表者がもっと良くなるために」

参考文献(部分的に私の実践を解説・紹介しているもの)

関田・渡辺・仲道(2016)『教育評価との付き合い方--これからの教師のために』さくら社
溝上監修、安永・関田・水野編(2016)『アクティブラーニングの技法・授業デザイン』東信堂
第2章 アクティブラーニングを支えるグループ学習の工夫--協同学習の視点から見える実践の留意点

関田・山崎・上田(2016)『授業に生かすマインドマップ: アクティブラーニングを深めるパワフルツール』
ナカニシヤ出版

松下佳代編著(2015)『ディープ・アクティブラーニング』勁草書房
第7章 意味ある学習を意識した授業デザイン --教師としての素養を学び磨くというストーリー

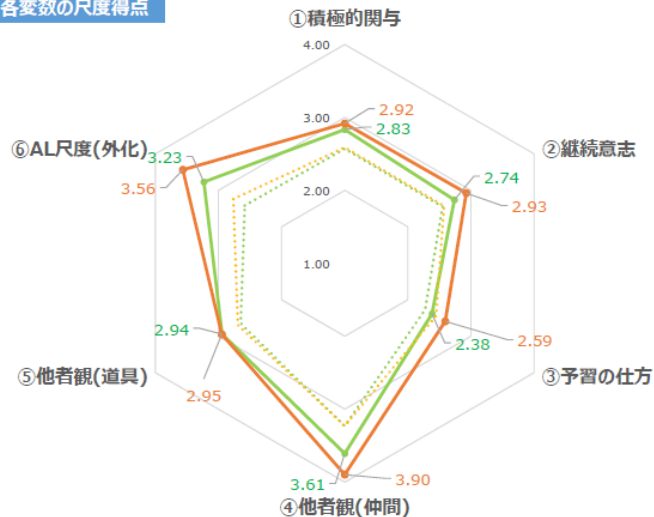
私の授業スタイルに関心のある方は、だいぶ古いですが京都大学高等教育研究開発推進センターの大学授業データベース(No.27,28)に協同学習の指示の仕方や、振り返りの工夫などの映像資料が登録されていますので、ご参照ください。 <http://www.highedu.kyoto-u.ac.jp/edunet/DB/index.html>

協同教育に関心を持たれた方は、日本協同教育学会のHPを参照ください。
www.jasce.jp 10月27-29日、岡山大学で年次大会があります。

統合結果

統合結果を以下に示す。

各変数の尺度得点



—●— 当該授業:プレ —●— 当該授業:ポスト 全体:プレ 全体:ポスト

学習アプローチの推移

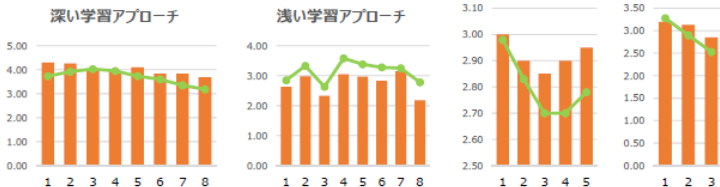


各得点状況

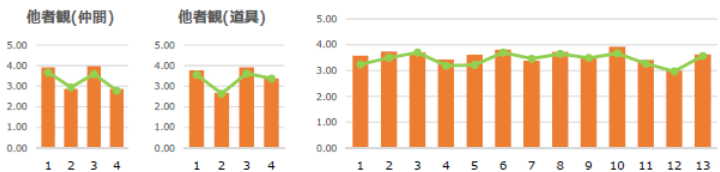
各尺度下位項目の得点状況の推移を示す。

凡例 —●— プレ —●— ポスト

学習アプローチ

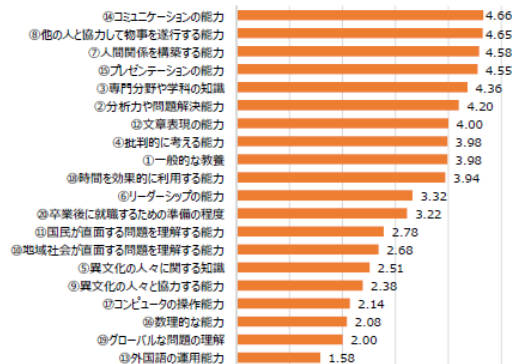


授業における他者観

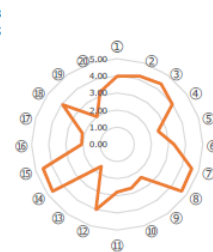


コンピテンシー

コンピテンシー（知識・技能）の平均値を以下に示す。



知識・技能



課題解説

マインドマップ (10回 x3点=30点)

指定されたテキストの章を、マインドマップにまとめます。まとめたマップを使って、その内容を授業時に仲間と説明し合います。決められた時間内で仲間と説明できなかったものは1点減点です。書き方のルールを守らないものは減点です。

対話ジャーナル (10回 x2点=20点)

授業で学んだこと(授業内容そのものの再現ではなく、そこで学んで考えたことや気づいたこと)を所定の書式でまとめます。そして次の授業時にグループの仲間同士でコメントをつけ合います。決められた時間内にコメントをもらえないジャーナルは1点減点になります。

※この課題は、実際に受講した授業して、振り返って書くものです。欠席した回のもは書けません。

ミニッツペーパー (14回 x2点=28点)

授業で学んだこと、考えたことを授業終りに書き残すものです。指示に従って、きちんと書ければ2点です。指示違反、あるいは不十分なものは減点です。

※この課題は、実際に授業中に行う活動に参加しないと書けません。

プロジェクト (合計12点)

専門学会誌に載っている論文を1本選び、著者になったつもりでポスター発表します。その際、仲間と重複しないように調整し、互いに協力し合って準備し、グループ活動の一環として発表や報告をします。

・企画書 (2点)

原則、研究方法の分類課題で扱った論文の中から1つ選びます。企画ワークシートに必要な事項を記入し、4/30の授業時に提出します。(新聞記事まとめ、分類共有まとめ、も添付すること)

・中間報告書 (2点)

グループの仲間の進捗状態を確認しあい、ポスター発表までの準備計画を完成させます。5/11の授業時に、仲間からの承認コメントをもらって完成・提出です。

・発表評価 (3点)

ポスター発表に際し、事前に設定した評価ルーブリックに従ってクラスメイトの発表を評価し合います。クラスメイトから寄せられた得点に基づいて、個人得点が決まります。

・レビューレポート (2点)

ポスター発表で扱った論文のレビューを指示に従って書きます。書いたものは提出前にグループの仲間の点検を受けます。点検を受けていない、あるいは点検の効果が認められないものは減点です。

・グループ評価 (3点)

グループ毎にレビューレポートの点数を集計し、全員満点をとっていたら、グループ全員に3点加算します。ただし、一人でも0点があれば、加算はありません。また、半数以上満点なら1点加算となります。

振り返り (合計10点)

この授業では、学び始めシート作成を起点に、対話ジャーナルを積み重ねることで自らの学習状態を振り返ります。加えて、中間と終りに自己評価の機会を設け、自律した学習者としての自己調整学習能力を鍛えます。

・中間振り返り (3点)

学期途中(6/1を予定)で、学期始めに立てた目標(学び始めシート参照)の達成状況や、科目の到達目標への取組み状況を自己点検し、学期終わりに向かっての計画調整を行います。指示に従って振り返りシートを作成し、相互評価で活用できれば3点。不備があったり、活用できなければ減点です。

・リフレクション (5点)

約3ヶ月にわたる授業の総括として、自らにどのような力が身についたのか、自己評価するものです。詳しい手順は別にプリントを配りますが、ポートフォリオとして蓄積してきたプロジェクト関連の資料や成果物を手がかりに、自分の学びを振り返る作業です。手順に従ってきちんと記述してあれば満点です。粗いもの、未完成なものは減点になります。

※リフレクションシートは返却しませんので、提出用とポートフォリオ保管用と2部作って下さい。

・ポートフォリオ (2点)

学期を通じてファイルしてきた学習成果物(ジャーナル、マインドマップなど)を1冊のポケットファイルにまとめたものを学習ポートフォリオと呼びます。ポケットファイルは百円均一ショップでも購入できますので、各自で用意してください。60ポケットのものを勧めます。ポートフォリオは、プリントまとめなど学習成果物がすべてきちんと(時系列もしくは課題別)にファイリングされていれば2点です。未整理や紛失、未完成なもの割合に応じて減点になります。

注) 公欠の対象になる理由で欠席した授業における提出物は、次の授業までに提出すれば減点せずに採点します。ただし、この対応は公欠届けを事前(欠席する回の前の授業までに)に提出した場合に限りです。

月日	提出物	備考
4/6	グループ分け調査票	
9	学び始めシート、1章まとめ、ミニッツペーパー (MP) 1	
13	MP2、新聞記事まとめ	
16	マインドマップ (MM) 1	
20	分類共有まとめ、対話ジャーナル (DJ) 1、MP3	
23	MM2	
27	MM3、DJ2	
30	企画書、DJ3	
5/7	MM4	
11	中間報告書、DJ4	
14	MM5	
18	DJ5、MP4	
21		
25	MP5、発表評価票	ポスター持参
28	MP6、発表評価票	ポスター持参
6/1	MP7、中間振り返りシート	ポスター共同制作
4	MM6	
8	MM7、DJ6、プリントまとめ	
11	DJ7、MP8	
15		
18	MP9、発表評価票	ポスター持参
22	MP10、発表評価票	ポスター持参
25	MM8	
29	MM9、DJ8	
7/2	DJ9、MP11、レビューレポート	
6	MP12	
9	MM10、プリントまとめ	
13	DJ10、MP13	
16	MP14、リフレクションシート	ポートフォリオ持参
20	(オプション: 自己成長記録シート)	